

キリコ展「わたしの子宮」

2026 年 3 月 4 日(水) - 4 月 4 日(土)

★関連企画 対談：3 月 28 日(土)16：00 - 17：00

キリコ×竹内万里子 (批評家・作家)

※参加ご希望の方はご予約下さい。(info@gyfa.co.jp まで)

この度ギャラリーヤマキファインアートでは、写真家キリコによる新作を発表いたします。弊廊にて 3 回目の個展となります。

本展は、2025 年 3 月 4 日に作家自身が経験した子宮摘出手術を契機に制作された、「セルフポートレート」と「オブジェ」の二つのシリーズによって構成されます。

臓器を失うという出来事は、単なる医療的処置にとどまらず、身体感覚や自己認識に静かな変化をもたらします。しかし時間の経過とともに傷は癒え、日常は何事もなかったかのように続いていきます。周囲に気づかれることもなく、ときに自分自身でさえ忘れてしまいそうになる——キリコはこの曖昧な感覚に着目し、喪失の後に立ち上がる「生の実感」を見つめます。

手術前後に撮影されたセルフポートレートでは、本来写真に写ることのない臓器の不在が、連続する時間のわずかな差異として示されます。それは、可視化できないものをいかにして表現しうるのであるのかという、写真というメディアの本質に関する問いを静かに投げかけます。

一方、オブジェシリーズでは、すでに廃棄された自身の子宮を医療写真を手がかりに立体として再構築しています。失われた存在を物質として呼び戻すこの行為は、再現であると同時に、喪失を受け入れながら生きていくための思考のプロセスでもあります。写真と立体を往還することで、本作は不在の身体をめぐる新たな知覚のあり方を提示します。

キリコはこれまで、親密な関係性や女性の身体を主題に、個人的な経験を普遍的な問いへとひらいてきました。本展においても極めて私的な体験は、身体の記憶、存在の連続性、そして「生きる」とは何かという根源的な問いへと接続されています。忘却へと向かう時間のなかで、失われたものの記憶をどのように現在へ留めることができるのか。

本展は、喪失と再生のあいだにある静かな気づきを通して、私たち自身の身体と生についてあらためて考える機会となるでしょう。



2025年3月4日撮影 / 1 day before losing my uterus



2025年3月4日撮影 / 1 day after losing my uterus

2025 年 3 月 4 日、ひな祭りの翌日、私は子宮を摘出した。

本作は、その経験を起点に制作された「セルフポートレート」と「オブジェ」の二つのシリーズから成る。

子宮を失うことは、単なる医療行為ではなく、身体と心に深い断絶をもたらした。しかし時間とともに傷は癒え、日常は何事もなかったかのように続いていく。誰にも気づかれず、自分自身さえ忘れてしまいそうになる——その曖昧さの中に、「生きる」感覚が立ち手術前後を撮影したセルフポートレートでは、写真に写らない臓器の不在を、連続する時間の中の微細な変化として捉える。一方オブジェシリーズでは、廃棄された「わたしの子宮」を、医療写真を手がかりに立体として呼び戻す。再構築の行為そのものが、喪失と共に生きるためのプロセスとなっている。

本作は、失われたものを忘れず、これからを生きるために制作された。 <キリコ>

キリコ展 -わたしの子宮- 開催概要

【開催概要】

展覧会名：キリコ展 -わたしの子宮-
会 期：2026年3月4日（水）～4月4日（土）
開館時間：11：00～13：00／14：00～18：00
休 館 日：日、月、火
会 場：ギャラリーヤマキファインアート
住 所：兵庫県神戸市中央区元町通3丁目9-5、2F
アクセス：JR、阪神電車「元町」駅 西口から徒歩1分
入場料：無料

【本件問い合わせ先】

取材のお申込み、広報画像のご提供など以下までお問い合わせください
ギャラリーヤマキファインアート 担当：蔭山リエチ
TEL：079-391-1666 FAX：079-391-1667
E-mail：info@gyfa.co.jp Web：<https://www.gyfa.co.jp>

作者経歴	<主なグループ展>
<主な個展>	2016SHASEN Art Festa（日本写真映像専門学校／大阪）
2010「旦那 is ニート」（Port Gallery T/ 大阪、企画ギャラリー・明るい部屋/ 東京）	2017「リニューアルオープン展ーひょうごから世界へー」（兵庫県立美術館分館原田の森ギャラリー／兵庫）
2011「フラストレーション」（Port Gallery T/ 大阪）	2021 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2021」（六甲高山植物園/ 兵庫）
2012 ギャラリープログラム「vewing_02 キリコ」（Port Gallery T/大阪）	2022 第 18 回京都現代写真作家展 受賞者記念展(京都文化博物館 / 京都)
2013「もの と ことば のポートレート」（たんぼぼの家 HANA/ 奈良、A/A gallery/ 東京）	2025 あれから（京都写真美術館／京都）
2013「re collection」（Port Gallery T/ 大阪、CROSSROAD GALLERY /東京）	2022 Study: 大阪関西国際芸術祭（グランフロント大阪 / 大阪）
2016「2 回目の愛」（gallery Main /京都）	2025 CADAN アートフェア「野に咲く花のように」（松坂屋名古屋店 / 愛知）
2017「mother capture」（Gallery Yamaki Fine Art／神戸）	<主な受賞暦>
2017「mother capture」（WACOAL STUDYHALL KYOTO／京都）	2009 第 32 回キャノン写真新世紀 佳作（荒木経惟 選）
2021「school goods」（Gallery Yamaki Fine Art／神戸）	2010 ミオ写真奨励賞 2010 入選
2021「school goods」（Roonee 247 Fine Arts / 東京）	2015 London International Creative Competition(LICC) 佳作
2023「The World」（gallery 04 街区/ 大阪）	2021 第 18 回京都現代写真作家展 大賞
	<コレクション先>
	京都府

また、関連企画として3月28日(土)16：00－17：00にキリコ×竹内万里子（批評家・作家）の対談を行います。参加ご希望の方はご予約下さい。

グーグルフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdpTv8Bo-evAX6hrWp0v90uZlARzh6RK6p9oCOQIPZkYuXh1A/viewform>